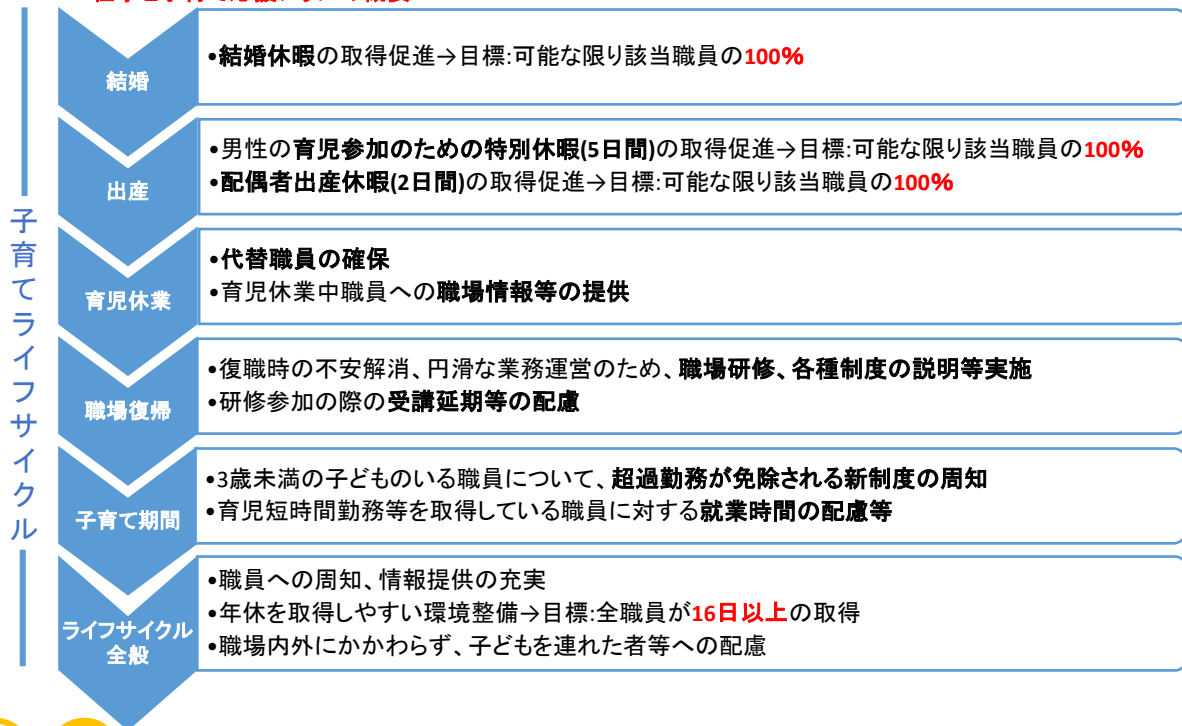


ワークライフバランス(WLB)について

財務局では、仕事と子育ての両立にも積極的に取り組んでいます。国家公務員には、育児休業や産前・産後休暇、短時間勤務等の制度がありますが、財務局では、できる限り多くの職員がこれらの制度を活用できるよう、「**仕事と子育て応援プラン**」を独自に定め、職員が安心して働き続けられる職場環境を目指しています。なお、女性職員の育児休業取得率は100%となっています。

～仕事と子育て応援プランの概要～



WLB 推進プロジェクト

仕事と子育てのバランスを図ることが出来る各種制度は整っていますが、まだまだ、北海道財務局においても運用の課題、問題点はあります。

そこで、仕事と育児に奮闘中の女性職員の情報交換の場を設け、職場の課題を発見し、その課題に対する施策アイデアを提言するチームを発足しました。提言するチームには、現在子育てに積極的に参加している男性職員も加わり、北海道財務局一丸となってWLBを推進しています。

課題提供

チームA 「WLB実態勉強会(WJB)」

- 小学生以下の子を有する共働き女性職員で構成
- 育児と仕事(キャリアアップを含む)の両立等の悩みを共有する職員が、相互に情報交換を行うことで不安感を解消するとともに、相談対応知識の共有・蓄積により今後の子育て世代である後輩職員等への相談にも対応



メンバー参加

人事課

- チームAの体制・情報交換会開催情報周知(悩みを抱えた職員とチームAの橋渡し)
- チームBから提言のあった施策の検討・実施

施策提言

チームB 「WLB推進ワークショップ(WWS)」

- WJBメンバー+8名程度の子育てに積極的に参加する男性職員等で構成
- 構成メンバーの3分の1(6名程度)で2月に1回ワークショップを開催
- 職場内での子育て中職員の周囲の職員の理解を促し、制度利用を促進するための各種施策アイデアを創出

職員からの
メッセージ



田中 智美
TANAKA TOMOMI

PROFILE

【北海学園大学 経済学部 卒】

平成17年4月 北海道財務局 総務部経済調査課 採用
平成19年7月 帯広財務事務所 管財課
平成21年7月 北海道財務局 総務部財務広報相談官付
平成22年7月 財務省 理財局財政投融资総括課
平成25年4月 財務省 理財局財政投融资総括課調査主任
平成25年7月 北海道財務局 総務部会計課調査主任
平成26年4月 北海道財務局 総務部会計課厚生係長
平成27年8月 北海道財務局 管財部国有財産管理官
(平成28年1月～平成30年3月 育児休業取得)
平成30年4月 北海道財務局 管財部国有財産管理官

私は平成27年に長男を出産し、**産前産後休暇**の後、約2年半の**育児休業**を経て平成30年度より職場復帰しました。

職場復帰にあたり、一番大変だったことは子供を預ける保育園が見つかるかどうかでした。私の場合、子供の年齢から募集枠が少なく、状況は極めて厳しいものでした。結果的に自宅近くの保育園に入ることが出来なかった為、初めての育児に戸惑いながら、職場復帰が近づくにつれて不安が募っていました。

しかし、職場には同世代の育児職員も多く、復帰に際して、同じく育休復帰した職員へ復帰後の生活について相談することができ、人事課へは復帰後の勤務制度について説明を受けることで段々と不安が解消されました。

復帰後は、**勤務時間短縮制度**を利用して、前後30分勤務時間を短縮して、子供の保育園の送り迎えをしています。

今回の私のように、自分が考えている通りの保育園が当たらなかったりして、通常の勤務時間で仕事をすることが難しい場合でも、北海道財務局には、両立支援制度が設けられており、職場内でも当該制度を利用させてもらえる理解ある環境があったことで仕事を続けられることが出来ました。

入局した当時は、将来の育児の事まで考えて選んではいませんでしたが、定年まで働きたいと希望する職場には、育児を含めて様々な事を両立出来る環境が必要で、北海道財務局には理解ある職員と環境があると感じています。

職員からの
メッセージ

私には2人の娘がいます。共働きの妻と育児を分担し、娘の成長を近くで見守りながら腰を据えて育児に専念するため、二女の誕生をきっかけに平成30年7月から1年間**育児休業**を取得しました。

育児休業中は育児や家事に追われ忙しいですが嬉しい変化もあります。私と手を繋ぎたがらずおむつを替える時も泣き叫んでいた長女が、今では「パパ、パパ」と懐いてくれたり、二女も私の腕ですやすやと寝付いてくれたりと、娘たちとの信頼関係が生まれかけがえのない時間を得ることができました。

男性の育児休業はあまり例がないため取得する時は少し不安でしたが、上司に相談したところ、家庭の状況等を理解していただき、前向きに受け入れてもらいました。また職場にも取得を応援してもらい大変心強く育児休業を取らせていただくことができました。

財務局では育児休業以外にも**配偶者出産休暇**や男性の育児参加を促すための休暇など制度が充実しています。そして財務局の素晴らしいところは、それら制度の活用を強力にサポートしてもらえる職場の雰囲気や体制が整っているところです。

将来皆さんも仕事と家庭の間で悩む事があるかもしれません。それは仕事はもちろん家庭にも皆さんにしか担えない大事な役割があるからだと思います。多様な生き方を模索できる今、在職中に子どもと深く関わる時間を持つ経験は貴重で、それが今後の職業生活の充実につながると信じています。



高木 健一郎
TAKAGI KENICHIROU

PROFILE

【愛媛大学 法文学部 卒】

平成27年4月 北海道財務局 理財部金融監督第一課 採用
平成29年7月 函館財務事務所 管財課
平成30年7月 函館財務事務所 総務課
(平成30年7月～ 育児休業取得)